



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

## WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 尾 崎 敬 則  
幹 事 村 上 泰 啓 会 報 委 員 長 小 原 一 眞

R I 2660地区  
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2302  
2016-12-2

事務所 〒542-0012 大阪市中央区  
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号  
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899  
http://www.osaka-johnan-rc.org/  
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp  
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55  
TEL. (06)6773-1111  
例会日 金曜日 12:30



Rotary Serving Humanity  
人類に奉仕するロータリー

2016-2017年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

### 本日の例会) 12月2日(第1例会)

- 例会 15:30 ~ 15:45
- 年次総会 例会終了後
- 防災の夕べ 16:00 ~ 17:45  
( 防災講話 16:00 ~ 16:30 )  
( 音楽隊演奏 16:45 ~ 17:45 )  
音楽隊演奏=陸上自衛隊 第3音楽隊  
37名編成
- 年末家族懇親会 18:00 ~ 20:30  
シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間
- 理事会 15:00 ~ 15:30  
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

### 次週のお知らせ) 12月9日(第2例会)

- 卓話 「水素エネルギー会社の展望」  
トヨタ『ミライ』で幕開けした水素エネ  
ルギー会社。インフラを支える岩谷産  
業が展望を語る。  
岩谷産業(株)中央研究所 副所長 茂森 敦氏  
(プログラム委員会担当)
- 次年度理事会 11:30 ~ 12:10  
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- 食膳 <日本料理 和定食>

### 次々週のお知らせ) 12月16日(第3例会)

- 3分間情報 杉原 茂会員
- 卓話 「あなたの人生は？」 永井正美会員

### 先週の記事) 11月25日(第4例会)

- 出席報告  
出席会員 42名 (内免除会員 12名)  
会員総数 51名 (同上 17名)  
ゲスト 1名  
ビジター 0名  
計 43名  
ホームクラブ出席率 91.30%

11月11日(第2例会) 補正出席率 100% (MU1名)

#### ● ゲスト&ビジター (敬称略)

張 淵 (米山奨学生)  
チョウ エン

### ◆ ガバナー 講話 ◆



2016-17年度 ガバナー

松本進也氏

皆さん、こんにちは。今年度第  
2660地区ガバナーを拝命いたし  
ました大阪北RCの松本進也でご  
ざいます。本日はガバナー公式訪  
問に参りました。よろしくお願いい

たします。本来は9月20日の予定でしたが台風の影響  
により、本日に延期となり、会場もニューオータニ大阪  
から、こちらのシェラトン都ホテル大阪に変更となりま  
した。よって、ホストの大阪東南RCからコメントさせて  
いただきます。

まず、大阪城南RCと親子の関係にある大阪東南RC  
は1985年11月26日に創立され、本年度31周年を迎え  
る歴史あるクラブです。本年1月30日には2008年度ガ  
バナー補佐の岡本実行委員長の下、IM第8組ロータ  
リーデーのホストクラブを務められ、北川 央氏の記念  
講演に続き、第8組9クラブの奉仕活動報告会は非常に  
有意義であったと存じます。地区には岡本実行委員長  
に2008年度ガバナー補佐をお務めいただき、今年度  
は田中ガバナー補佐、松井財団委員にご出向いただい  
ております。この場をお借りして御礼を申し上げます。

松田清治会長の会長方針は「継続の精神」を掲げ  
られ、30周年を終え、次へと繋いで行く精神が最も大  
事であるとされています。継続というキーワードはまさ  
しく、本年はロータリー財団100周年であり、2020年は  
日本のロータリー100周年であります。我々一人ひと  
りが明確なロータリー理念のもと、積み上げ、継続したこ  
の精神を是非、次世代にも繋いで行きたいと存じます。  
また、職業奉仕活動として出前授業の継続や、国際奉  
仕活動として大阪南、大阪イブニングとの3クラブ合  
同事業として「カンボジアでの若手医師教育支援活動」  
がございます。単なる治療行為に終わらず、医師の養  
成はまさしくその地に根付いた継続活動であり、松田  
会長の方針そのものであります。着実な奉仕活動を実  
施されておられることに敬意を表します。

次に、親クラブの大阪城南RCは1969年5月30日に  
創立され、本年47周年を迎える歴史あるクラブである  
と共に、1996年度に故 中川章三ガバナー、2011年度  
に岡部泰鑑ガバナーを輩出された名門のクラブでも  
あります。地区には岡部パスト・ガバナーをはじめ、  
2005年度に畑田ガバナー補佐、昨年度に境ガバナー

12月は疾病予防と治療月間です!!

補佐、今年度は岡部倫正米山奨学委員にご出向いただきまして、地区へのご貢献に感謝申し上げます。岡部パスト・ガバナーはRI研修リーダーをお務めであり、本年1月のサンディエゴ国際協議会に始まり、日頃よりご指導を賜り御礼申し上げます。また、青少年奉仕事業に注力しておられ、米山奨学生として中国から張 淵さんの世話クラブであり、張さんは11月6日に開催された第7回米山奨学生スピーチコンテストで最優秀賞を受賞されました。また、地区の米山奨学生やカウンセラーに呼び掛けて、8月4日の貸切ビール列車の企画を成功に収められたことは記憶に新しい事柄であります。尾崎敬則会長方針を拝読いたしますと、「創立50周年に向けての基盤づくりをめざして」という目標を掲げられ、会員増強やクラブ活動や委員会活動の充実、IT化など4項目の具体的方策を示しておられます。本年6月18日の会員増強セミナーでは当時エレクトの尾崎会長が貴クラブの出席率につき、事例発表されました。この5年間で平均98.15%は実に素晴らしい出席率であり、地区でも模範的存在であります。皆様もご存じの通り、先般の規定審議会ではロータリーの岐路とも言える各種決議がございました。このような混沌の時代だからこそ、50周年の新たな歴史を迎えられる貴クラブは、尾崎会長のおっしゃる「基盤」をロータリー精神にのっとり、強固になさる一年になることと存じます。

是非、第2660地区を牽引するクラブになっていただくことを祈念いたします。

### 【2016-17年度RI会長方針】

それでは、国際協議会でRI会長によるRI会長テーマの説明の4分程度の講演映像がありますので、ご覧ください。

RI会長講演映像「アインシュタイン」 4分間

改めまして、2016-17年度RI会長テーマは、“Rotary Serving Humanity”—人類に奉仕するロータリー—であります。これは、『人類への奉仕』という大きな目標に向け、リーダーシップを持ちうる会員を増やし、ポリオ撲滅をはじめ『世界でよいことをする』ため伝統を継承しよう』という意味であります。

また、国際協議会で強調されたことが3点あります。

第一に、2016-17年度はロータリー財団100周年の記念すべき年にあたることでした。

第二に、2018年のポリオ撲滅目標年を控え、ポリオ撲滅についても強い言及がありました。

最後に、会員増強であります。ロータリー精神を有し、リーダーシップを兼ね備えた人材を必要とする。とのことであります。当方も全てを具体的目標に組み入れ、運営の要として参ります。

### 【本会議場看板】

この国際協議会の本会議場であるメインホールに掲げられた看板は従来“Enter to learn, Go forth to serve”「入りて学び、出でて奉仕せよ」でありましたが、3年前より“JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS, TAKE ACTION”となっております。より自発的そして、活発なロータリー活動が求められていると感じた次第

であります。

### 【2016-17年度 第2660地区ガバナー方針】

さて、先程申しましたRI会長テーマを受け、第2660地区2016-17年度ガバナー方針を“The Ideal of service”—ロータリーの根幹精神—と決めました。当該方針はロータリーの目的(以前は綱領と呼称)の第三項にも記載されています。

1920年、東京に我が国最初のロータリークラブを設立した米山梅吉氏は、“The Ideal of service”の日本語訳の際、「奉仕の理念」ではなく、敢えて「サービスの理念」とされました。日本語の「奉仕」は自己犠牲の意味合いがあまりにも強く、“service”の本来の意味と合致しないからです。日本のロータリークラブの祖である米山氏の意を汲み、当方も原語をガバナー方針に採用した次第です。

この「奉仕」と“service”の違いにつきまして、図にてご説明いたします。

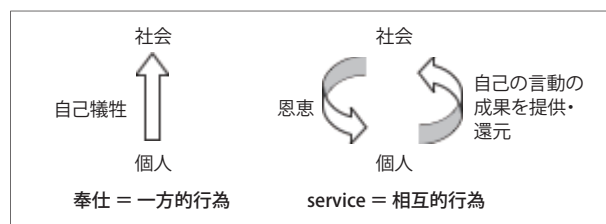
\* 奉仕 = 一方的行為

矢印は個人から社会への一方向のみで、日本語では自己犠牲の意味合いが大きいです。

\* service = 相互的行為

矢印は個人と社会を循環しています。

個人から社会へは「自己の成果を提供・還元」し、結果、社会から個人へ「恩恵」が供給されます。



この図式をロータリー活動の際、常に当てはめて考えていただきます様、周知をお願い申し上げます。

### 【2016-17年度 第2660地区具体的目標】

2016-17年度の第2660地区における具体的目標を次の5項目と決めました。

1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践
2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進
3. ロータリー財団100周年、ポリオ撲滅
4. 戦略計画の推進
5. IM再編成

1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践  
この基本理念を第2660地区会員全員に周知し、その精神に基づいた地区活動・クラブ活動を推奨いたします。この実践の意味はロータリアンの活動が真に社会に役立つものであり、活動及び成果が継続性を有し、相互的に享受し合えるものである。ということでもあります。

2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進  
当方年度より、紙媒体によるガバナー月信を停止し、第2660地区のホームページに掲載し、また、メール配信といたしました。この移行には三つの利点があります。第一にIT化の促進、第二に地区活動費の充実です。第三に最大の特色として、今まではクラブ毎に一定数購入し、閲覧や配布をしておりましたが、本年度から



はネット環境がある全ての皆様のご都合の良い時に随時ご覧いただけるということが挙げられます。

3. ロータリー財団100周年のお祝い、ポリオ撲滅  
今年度はロータリー財団創立100周年の記念すべき年であり、RIは我々へ「100周年のお祝い」を呼び掛けています。お祝いとは所謂お祭りではなく、財団が過去、RIと共に世界で成し遂げた功績を改めて振り返り、財団についての理解・参加・寄付を推進すること。とのこと。よって、補助金を使った事業の立案や例会で財団関係の卓話をしていただくなど、ご検討いただきたく思います。

また、RI会長は様々な奉仕活動の中で、特に重要であるのがポリオ撲滅であると評されています。

国際協議会でRI会長によるポリオについての5分程度の講演映像がありますので、ご覧ください。

RI会長講演映像「ポリオ」 5分間

人類の悲願であるポリオ撲滅が達成されれば、人類史上撲滅された病としては天然痘に続き、2番目となります。

今、善いことをすれば、後世により良い世界を遺すことができます。皆様のご理解をお願いします。

4. ロータリー戦略計画の推進

今年度も引き続き、戦略計画を強く推し進めます。戦略計画の三本柱は

- 1) クラブの活性化とサポート
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上 であります。

戦略計画は「親睦」「高潔性」「多様性」「奉仕」「リーダーシップ」の5つの観点を軸としています。

先程の3本柱にはそれぞれゾーンごとに担当制であり、本年度、当地区からは3人の方が選抜されました。

RIは戦略計画の推進を奨励事項としております。当地区も更なる推進を目指します。

5. IM再編成

昨年12月5日の地区大会決議第8号にて「IMの在り方を決議する件」が採決され、2018-19年度の山本G年度を目処に、時代にあったIM再編成やガバナー補佐の選出方法を実行することとなりました。当方年度は準備年度としての役割を果たし、片山G年度に継承できるように尽力いたします。両案は9月24日の地区決議会にて賛成多数により承認されました。

#### 【2016-17年度の年次寄付等年間目標】

当方年度の年次寄付等、年間目標を次のように定めました。

1. 年次寄付	1名あたり \$160	
2. ポリオ撲滅	1名あたり \$60	計 \$220
3. ベネファクター	各クラブ1名	
4. 米山奨学金	1名あたり 30,000円	
5. 会員増強	1クラブ純増2名	

まず、年次寄付を1名あたり \$160、ポリオ撲滅に1名あたり\$60の計 \$220とさせていただきます。

これは、ロータリー財団100周年の記念すべき年にあたり、RI会長の通達に「過去最高額の寄付の奨励」が

あり、また、国際協議会講演でもポリオ撲滅の実現を強調されたからです。そして、ベネファクターを各クラブ1名といたしました。

米山奨学委員会では、本年度より「複数世話クラブ制度」を全国に先駆けて実施します。

この画期的な制度の推進の原動力となるべく、米山奨学生への寄付目標を直近3年間同様、一人当たり30,000円といたしました。

最後に会員増強を1クラブ、純増2名といたしました。第2660地区でも会員数の減少が危惧されております。本年度の会員増強はRIが求めている数値は地区全体で3%増であります。よって、本年度第2660地区目標は各クラブ純増2名といたしました。

増強方法の選択肢として、若年層でより経済的負担の掛からない衛星クラブの設立や女性会員の加入があります。通常の増強に、このような視点を変えた増強方法も候補に入れて、目標純増2名を達成していただきたく存じます。

#### 【2016年規定審議会】

2016年4月10日-15日 シカゴにて、2016年規定審議会が開催されました。

当地区からは横山守雄規定審議会代表議員がご出席され、5月21日の規定審議会報告会にてご報告賜りました。

今回の決定事項は入会金や例会頻度等、各クラブへより多くの裁量権と自治権を与えるドラスティックな内容でした。しかし、ロータリーの目的の第3項であり、当方のガバナー方針でもある“The Ideal of service”、このロータリーの本質は変わっていないことをご承知おきいただきたく存じます。また、斉藤RI理事より、本年の11月30日からのロータリー研究会にて本件につき、統一見解を出す承りましたので、ロータリー研究会後、皆様にもご報告いたします。

#### 【我々の最終到達点】

また、RI会長はご講演の中で、我々ロータリアンを「ロータリーチーム」と呼びました。

そこで当方は我々を「チーム2660」と呼ぶことといたしました。

先人が築き上げられたこの伝統ある第2660地区を更に飛翔させるのは皆様の力の結集であります。

クラブと地区、学友会との交流による「相互的行為」を皆様自身も常に念頭におかれて、第2660地区3,650人が「チーム2660」として一丸となり、日本34地区を牽引する地区となることを願います。

#### 【地区大会PR映像】

それでは最後に12月9日-10日に行われます、地区大会のPR映像をご覧くださいますが、このPR映像に当方から一言付け加えさせていただきます。地区大会で祝能を披露いただき、能楽師である当クラブの大槻文蔵会員が7月15日、人間国宝に認定されました。このPR映像作成後に認定の一報が入りましたので、僭越ながら申し添えさせていただきました。それでは5分程度となりますので、ご覧ください。

地区大会PR映像 5分40秒

## 〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

また、地区大会の最新情報を追加としてご紹介いたします。

まず、1日目の分科会の会長・幹事部門のアドラー心理学者の岸見一郎先生の演題が決定いたしました。「嫌われる勇氣、そして幸せになる勇氣」でございます。どちらもベストセラーであり、ご存じの方も多いと思います。また、財団・一般部門ではユニセフ ニューヨーク本部からポリオ根絶チーム上席アドバイザーの山口郁子氏を招聘いたします。その後は大谷パスト・ガバナー、福家パスト・ガバナーにご登壇いただき、シンポジウムを開催いたします。

最後にメインイベントになります2日目の特別基調講演は、毎日新聞編集者 岸井成格氏をお迎えして、「日露首脳会談と政局の行方」につきましてご講演いただきます。北方領土返還の機運が高まる昨今、12月15日にはプーチン大統領が来日し、山口県で安倍首相と対談されるという非常にタイムリーな話題であると存じます。友愛の広場では、ユニセフから貸与を受けポリオ撲滅関連として、今話題のバーチャルリアリティを実際にお使いいただけるコーナーやパネル展示もございます。

12月9日、10日、年の瀬を控えておりますが、皆様の御来場をお待ちしております。

以上を持ちまして、公式訪問の卓話とさせていただきます。最後になりましたが、貴クラブの更なるご発展と会員の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

### ◆ 東南ロータリークラブ会長ご挨拶 ◆



大阪東南RC会長 松田清司氏  
本日は多数お集まりいただき有難うございます。

昨年から親クラブの大阪城南RCの尾崎会長様(昨年エレクト)と本年度9月20日に決めておりました第2660地区 松本進也ガバナー様と城南RC・東南RC両クラブによる例会とガバナー公式訪問の予定をしておりましたが、台風のため中止となりました。

その後協議の上、本日に決まりました。その時にガバナー事務所に日程調整をお聞きしたところ本年度12月末までに2日しか予定の空きがないと伺いましてガバナーの大変お忙しい実情を垣間見させていただきました。

また、親クラブの城南RC様のおかげで本日、当ホテルで執り行うことが出来たことに感謝申し上げます。本当に有難うございます。

私が本年度の会長としてのテーマは「継続」です。続けて行くと言うことの大切さを考えております。その一つとして先週の15日、16日に一泊二日で四国の徳島へメンバーの皆さまとご一緒させていただきメンバー間の親睦を深めました。これからも事あるごとに親睦を深めてまいります。

### ◆ 城南ロータリークラブ会長挨拶 ◆



大阪城南RC会長 尾崎敬則会員  
松本進也ガバナー、大阪東南RCと大阪城南RCとの合同例会に、ようこそお越しくださいました。ガバナーのご訪問、心より歓迎いたします。

先ほど、大阪東南RCの松田会長をはじめ役員・理事の皆様と共に、岡部パスト・ガバナー、田中ガバナー補佐、岡本・畑田・境パスト・ガバナー補佐にもお入りいただき、ガバナーとの懇談をさせていただきました。有難うございました。

また、本日の合同例会開催に当たりましては、大阪東南RCの皆様には大変お世話になりました。有難うございます。本来、9月20日開催のところ、台風のため延期になり、本日開催となりました。しかも、大阪東南RCのいつもの例会とは曜日も場所も違うこととなり、ご苦労をおかけしました。

さて、大阪城南RCはジャームRI会長の「ロータリー・サービング・ヒューマニティ」というテーマ、そして松本ガバナーの「ジ・アイデアル・オブ・サービス」というガバナー方針と具体的目標を受け、50周年に向けての基盤作りを目指し、拡大増強等や奉仕活動を進めております。そして、これらの活動の中で今月初め、とても嬉しいことがありました。それは、当クラブの米山奨学生の張さんが、スピーチコンテストで最優秀賞を受賞され、松本ガバナーから表彰されたことです。

ところで、今回の合同例会で、両クラブの絆はまた強くなりました。今後も、両クラブの絆を一層強めるため、合同例会は続けていただきたいと存じます。有難うございました。

### にこにこ箱

11月25日(第4例会)

- 松本ガバナー。ようこそお越しくださいました。ありがとうございます。  
大阪東南RCの皆様、本日はどうもありがとうございます。

尾崎会員

- 松本ガバナーをお迎えして。  
岡部(泰)会員
- 松本ガバナーようこそお越しくださいました。この1年間頑張ってください。

上会員

- 松本ガバナーのご訪問、歓迎申し上げます。  
畑田会員

11月にこにこ合計 119,000円  
ハット合計 40,000円

(編集担当 濱田・室谷)

会員増強にご協力を!!

## ◆ 防 災 講 話 ◆



第36普通科連隊 第2中隊長  
拵井雄二氏

### ● 演目

「自衛隊の能力と活動」

### ● 拵井氏ご紹介

出身地 和歌山市

年 齢 49歳

趣 味 バイクツーリング・映画鑑賞

経 歴

昭和61年11月

第109教育大隊へ入隊（大津）

昭和62年2月

第37普通科連隊 新隊員後期課程（信太山）

昭和62年5月

第37普通科連隊 第3中隊に配置（小銃手）  
（信太山）

平成2年7月

第4陸曹教育隊へ入校（#77期陸曹候補生）  
（松山）

平成3年1月

3等陸曹に昇任

平成6年3月

第37普通科連隊 対戦車中隊に配置  
（HATM誘導手）（信太山）

平成7年1月

阪神大震災災害派遣参加（68日間）

平成10年10月

幹部候補生学校へ入校（久留米）

平成11年3月

3等陸尉任官（対戦車小隊長）

平成11年4月

富士学校へ入校（幹部初級課程）（富士）

平成12年3月

普通科教導連隊第4中隊として配置  
（小銃小隊長）（富士）

～19年8月まで

主要補職（情報小隊長、情報幹部、運用訓練幹部）  
（富士）

平成19年8月

富士学校管理部に配置（市街地訓練場管理班長）

平成21年8月

富士学校普通科部に配置（訓練教官）（富士）

平成25年3月

和歌山地方協力本部に配置（募集案内所長、企画  
幹部）（和歌山）

平成28年8月

第36普通科連隊 第2中隊長（伊丹）

## ◆ 第3音楽隊 演奏曲目 ◆

演奏曲目

1. あの日聞いた歌
2. 故郷
3. キッズアニメメドレー
4. 坂本九 スタンダードメドレー
5. 川の流れるように～りんご追分
6. 坂本冬美メドレー

アンコール

まつり

参加人員 総員38名